

【技術の名称】 SB-Joint ー東急建設式 鉄骨柱梁接合部省力化工法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第23-07号 性能証明発効日：2023年7月5日 【取得者】 東急建設株式会社
--	---

【技術の概要】

本技術は、通しダイアフラム形式の柱梁接合部における梁継手に関する技術である。本技術では、平面的に拡張した通しダイアフラムにボルト孔を設けてブラケットを構成することで在来工法に対してブラケットを短縮し、ブラケットとH形断面梁を拡幅部を有する添板を介して高力ボルト接合する技術である。

【技術開発の趣旨】

通しダイアフラム形式の柱梁接合部(ブラケット工法)は耐震性能が非常に優れているため、鉄骨造架構において使用されることが多い接合部形式である。その一方で、梁端フランジの完全溶け込み溶接部は高度な技術と厳重な品質管理が要求され、昨今の建設業界で問題視されている熟練の溶接工不足に対しては解決すべき課題が多い。また、柱からのブラケットの突出が長いために運搬効率の向上にも一定の課題がある。このような背景から、本技術は鉄骨工事の生産性向上を目指して開発した。本技術は、通しダイアフラムを平面的に拡張してブラケットを構成し、在来のブラケット工法よりもブラケット長さを短縮することで運搬効率の向上を図り、そのブラケットとH形断面梁(中央材と称す)を高力ボルト接合して梁端フランジの完全溶け込み溶接を排したことで製作効率を向上することを意図して開発したものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「SB-Joint 構造設計・施工指針」に従って設計・施工された鉄骨柱梁接合部は、同指針で定める剛性、耐力および変形性能を有する。

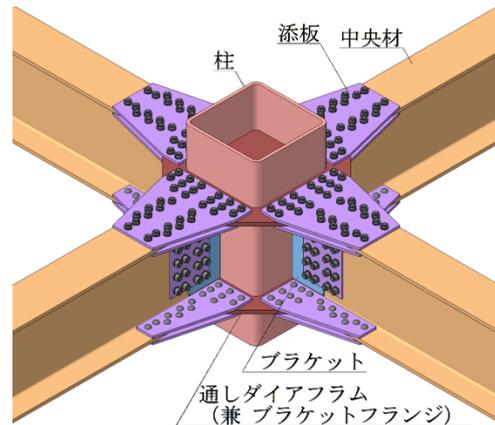


図1 SB-Jointの概要



写真1 実験状況

【本技術の問合せ先】

東急建設株式会社 担当者：中田 寛二
〒252-0237 神奈川県相模原市中央区田名 3062-1

E-mail：nakata.hirokazu@tokyu-cnst.co.jp
TEL：042-763-9528 FAX：042-763-9504